

日本風景街道のこれまで



日本風景街道の概要

■ 理念・目的

多様な主体による協働のもと、道を舞台に、風景や自然、歴史、文化など地域ならではの資源を活かした活動を促進

地域活性化への寄与

[地域の歴史、文化、伝統の継承、復元など
世代間交流を通じたコミュニケーションの再生・促進 等]

観光振興への寄与

[地域資源、活動の情報発信や
来訪者を楽しませる工夫 等]

有機的につなぐ
仕組み

美しい国土景観の形成

[自然景観の改善、歴史的まちなみの保全 等]

多様な主体による
協働の取組

||
日本風景街道

■ 多様な主体による協働

活動に応じて必要な組織

地域住民

NPO

町内会・自治会

企業

大学関係者

警察

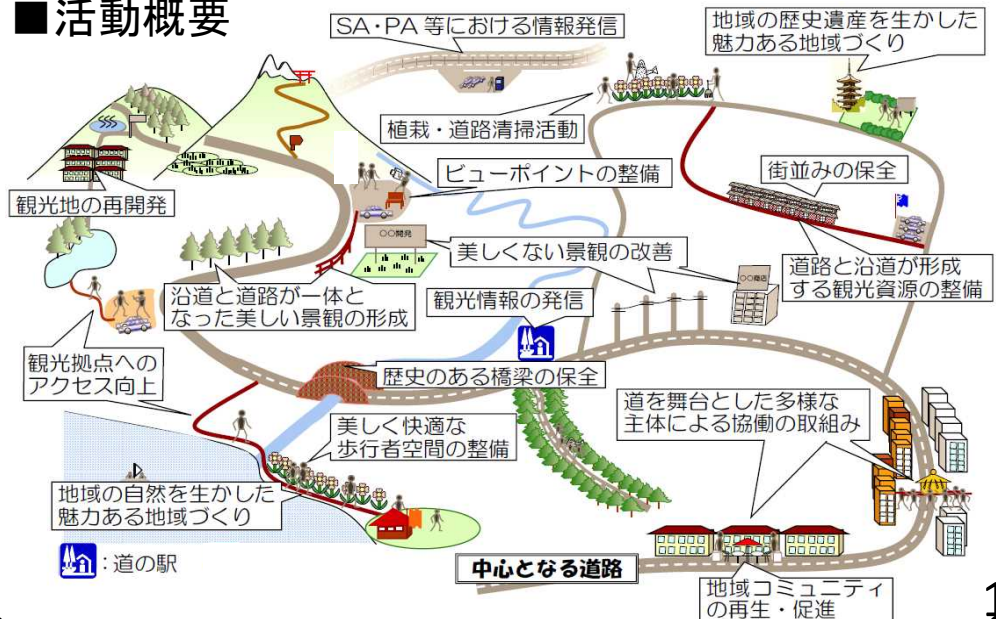
地方公共団体
(市町村等)

その他

道路の管理者

風景街道パートナーシップ
(ルートごとに設置)

■ 活動概要





日本風景街道のあゆみ①

H17年度

「日本風景街道戦略会議」の設置（12月）

（委員長：奥田碩 日本経済団体連合会名誉会長）

H18年度

理念・仕組み・制度の検討

H19年度

第4回戦略会議にて
「日本風景街道の実現に向けて 提言」
とりまとめ

4月 奥田委員長から国土交通大臣に
提言手交

9月 登録開始
（平成19年度末：93ルート登録）



平成29年12月8日現在 141ルート登録



日本風景街道のあゆみ②

平成17年12月	日本風街道戦略会議 設置（委員長:奥田碩 経団連名誉会長）
平成19年 4月	提言『日本風景街道の実現に向けて』（日本風景街道戦略会議）
7月	「日本風景街道にかかる協議会及び登録の取り扱いについて」について【局長通達】
9月	地方ブロック毎に設置された「風景街道地方協議会」にて、日本風景街道の登録開始（平成29年12月8日現在 141ルート）
平成23年 5月	NPO法人 日本風景街道コミュニティ設立（代表理事:石田東生筑波大学特命教授）
平成24年 2月	「日本風景街道」関連商標の使用許諾事務手続きについて【課長通達】
2月	日本風景街道ロゴマークの運用開始
平成25年度 ～ 26年度	パートナーシップ等との意見交換会を踏まえ、好事例集を作成 <ul style="list-style-type: none">* 自然の中を歩くための環境整備* 木・花を植える* 案内看板、地図をつくる* 交通アクセスに関する取組
平成28年 4月	道路法改正による「道路協力団体制度」創設（第1回指定26団体）
8月	日本風景街道自治体連絡会 設立（会長:熊川栄 孺恋村長）
平成29年 4月	提言『質の高い日本風景街道に着手するために』（日本風景街道自治体連絡会、NPO法人日本風景街道コミュニティ）
平成29年 8月	社会資本整備審議会 道路分科会 建議



『道路・交通イノベーション ～「みち」の機能向上・利活用の追求による豊かな暮らしの実現へ～ 』
(平成29年8月22日) ー抜粋ー

IV 道路施策の具体的提案

7. 地域における産学民官の新たな連携へ

(3) 道の駅や高速道路の休憩施設等の活用促進

- ・ 地域間の連携等を推進するため、高速道路と道の駅、道の駅相互の連携強化、高速道路の休憩施設の地域開放等を推進するとともに、日本風景街道等の施策の活用を推進すべきである。

8. ニーズに応じた道路空間の利活用

(3) 民間団体等との連携による価値・魅力の向上

- ・ 日本風景街道活動団体や道路協力団体、エリアマネジメント団体等の民間団体等と連携・協働して、道路管理の充実とともに、地域の賑わいづくりや修景活動等に寄与する取組を充実・活性化し、地域の様々な課題への総合的な対応へと発展させるべきである。



主な施策での位置づけ

観光立国推進閣僚会議

「観光ビジョン実現プログラム2017ー世界が訪れたくなる日本を目指してー
(観光ビジョンの実現に向けたアクション・プログラム2017)」(平成29年5月)ー抜粋ー

景観の優れた観光資産の保全・活用による観光地の魅力向上

<関連施策>

○美しい自然・景観の観光への活用

- ・「日本風景街道」の取組の推進等を通じ、地域と道路管理者等が連携した多様な活動や道路景観を美しくする取組を進めるとともに、道路空間の使い方を工夫することにより、景観の美しい、快適なドライブ環境を創出する。

国土交通省

「国土のグランドデザイン2050～対流促進型国土の形成～」(平成26年7月)ー抜粋ー

4. 基本戦略

(8)美しく、災害に強い国土

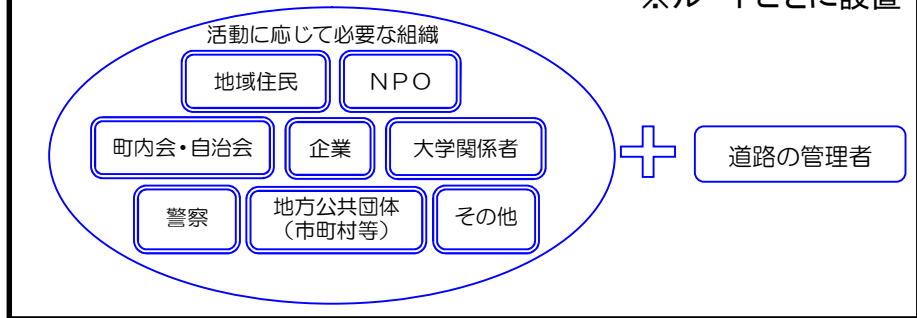
- ・我が国の国土の上で育まれてきた多様な自然や、山紫水明とうたわれる美しい景観を守り、次世代へと継承していくため、国土の適切な管理を行っていく。また、地域独自の歴史・文化等に根差した景観や、潤いと安らぎを与える水と緑といった自然等の幅広い地域資源を最大限活用した、美しく魅力ある地域づくりを行う。その際、人口減少により発生する空き地等を積極的に活用していくとともに、無電柱化、さらには日本風景街道といった美しい道路景観づくりの推進など、景観の改善や防災・減災に資する取組を推進する。



日本風景街道の登録スキーム

風景街道パートナーシップ

※ルートごとに設置



【風景街道パートナーシップ】

- 各風景街道で活動する活動主体を指し、風景街道を登録申請する際には、必ず組織されていなくてはならない。
- 地域の活性化や観光振興等の日本風景街道の目的に合致する活動を行う上で必要な道路管理者と地域住民、NPO法人、民間企業等により構成されている必要がある。

【登録条件】

- ①「風景街道パートナーシップ」が組織されていること。
- ②景観、自然、歴史、文化、体験・交流又は施設・情報の地域資源を1つ以上有していること。
- ③日本風景街道の理念・目的に賛同し、それに合致した活動を継続的に実施していること。
- ④申請された日本風景街道に「中心となる道路」が存在していること。

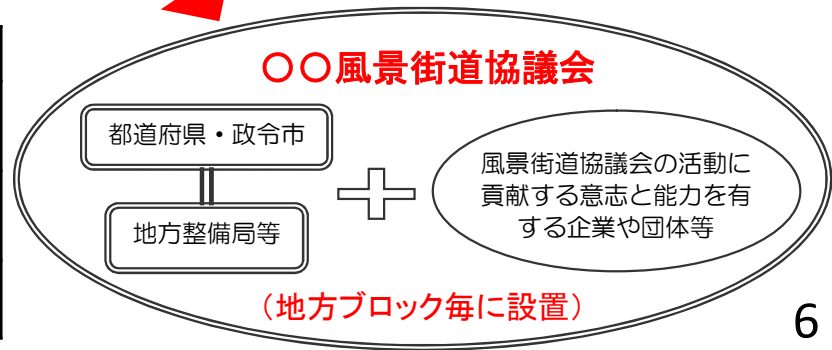
登録申請
(随時受付)

登録条件を
確認し登録



■風景街道地方協議会の構成員要件

条件	行政組織	民間組織
構成員に必ず含まれていること	地方整備局等	地元経済団体 (商工会議所等でも可)
構成員に含まれていることが望ましい	都道府県、政令市	学識経験者、民間企業等
構成員に含むことができる	運輸局、農政局 等	





日本風景街道 各ブロック協議会

平成29年4月1日現在

名称	開催頻度	主な委員
シーニックバイウェイ北海道推進協議会	原則：年1回	会長 北海道商工会議所連合会会頭
東北風景街道協議会	原則：年1回	会長 東北経済連合会 副会長
風景街道関東地方協議会	原則：年1回	会長 (一社)埼玉県商工会議所連合会 専務理事
北陸風景街道協議会	不定期 (交流会議を年1回開催)	会長 北陸経済連合会専務理事
風景街道中部地方協議会	不定期	会長 (一社)中部経済連合会専務理事
近畿風景街道協議会	不定期	会長 京都府立大学 副学長 宗田好史
中国地方風景街道協議会	不定期	会長 中国経済連合会会長
四国風景街道協議会	不定期 (幹事会を年1回開催)	会長 四国経済連合会 会長
九州風景街道推進会議	原則：年1回	会長 西日本鉄道(株) 相談役
沖縄地方風景街道協議会	不定期 (南北交流会を年1回開催)	会長 沖縄総合事務局開発建設部 企画調整官



全国から141ルートが登録

平成29年12月8日現在

近畿風景街道協議会

- 6-1 日本文化のクロスロード (横大路・下ツ道)
- 6-2 新世紀くらわんかストリート
- 6-3 丹後半島「古代ロマン街道」
- 6-4 日本風景街道 熊野
- 6-5 日本風景街道伊勢街道
- 6-6 御所まち近世景観街道 ~近世物流の要所~
- 6-7 中之島・大川・御堂筋回廊
- 6-8 若狭熊川・鯖街道
- 6-9 琵琶湖さざなみ街道・中山道
- 6-10 たんば三街道
- 6-11 愛宕街道 (京都鳥居本)
- 6-12 悠久の竹内街道
- 6-13 三国湊のまち・海・緑・そしてひとを結びみち
- 6-14 但馬漁火ライン
- 6-15 日本風景街道まほろば
- 6-16 日本風景街道 ~難波宮と大阪・熊野街道~
- 6-17 美山かやぶき由良里街道
- 6-18 ふくいやまぎわ天下第一街道
- 6-19 西の鯖街道

北陸風景街道協議会

- 4-1 日本海パークライン
- 4-2 北アルプス大展望・最長最古の塩の道ルート
- 4-3 金沢城下 野町・弥生誘い街道
- 4-4 奥能登絶景海道
- 4-5 良寛も歩いた弥彦浪漫の道
- 4-6 日本の原風景 「枝垂れ桜の咲く里への回り道」
- 4-7 飛越交流ふり・ノーベル出世街道
- 4-8 よりみち街道『中越』
- 4-9 越後妻有里山回廊
- 4-10 佐渡國しま海道
- 4-11 白山眺望街道

シーニックバイウェイ 北海道推進協議会

- 1-1 支笏洞爺ニセコルート
- 1-2 大雪山・富良野ルート
- 1-3 東オホーツクシーニックバイウェイ
- 1-4 宗谷シーニックバイウェイ
- 1-5 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
- 1-6 函館・大沼・噴火湾ルート
- 1-7 萌える天北オロロンルート
- 1-8 十勝シーニックバイウェイ〜十勝平野・山麓ルート
- 1-9 十勝シーニックバイウェイ〜トカプ子雄大空間
- 1-10 十勝シーニックバイウェイ〜南十勝夢街道
- 1-11 札幌シーニックバイウェイ〜藻岩山麓・定山渓ルート
- 1-12 どうなん・追分シーニックバイウェイルート
- 1-13 天塩川シーニックバイウェイ

中国地方風景街道協議会

- 7-1 R185さざなみ海道
- 7-2 歴史街道「萩往還」
- 7-3 人間文化の原風景 ~こ線をつなぐ神仏の通り路~
- 7-4 本州最西端の道「風波のクロスロード」
- 7-5 しまなみ風景街道
- 7-6 大山遥望歴史の道
- 7-7 風待ち海道 ~隠れまるごとミュージアム~
- 7-8 銀山街道・陰陽結ぶ銀の道
- 7-9 新因幡ライン ~ふるさとに出会う幸福(29)ロード~

東北風景街道協議会

- 2-1 のしろ白神の道
- 2-2 ふくしま浜街道
- 2-3 みちのくおとぎ街道
- 2-4 曹江真澄と巡るあきたの道
- 2-5 桑折宿まちなか街道
- 2-6 忘れられた道造りの歴史と 絶景を「江戸の旅日記から 感じる道」
- 2-7 磐城海道
- 2-8 奥州街道 温故知新の道
- 2-9 青森エントランスロード
- 2-10 菓子の松街道
- 2-11 出羽の古道 六十里越街道
- 2-12 城下町あいつ道華街道
- 2-13 広瀬川せせらぎ緑道
- 2-14 弘前まちなか散策街道
- 2-15 越後米沢街道・十三峠
- 2-16 釜石「鉄のみち」
- 2-17 十和田奥入瀬浪漫街道
- 2-18 奥州街道と縄文のみち
- 2-19 黄花紅の東むつ湾ルート
- 2-20 磐梯吾妻スカイ・レーク・ゴールドライン

九州風景街道推進会議

- 9-1 日南海岸きらめきライン
- 9-2 日豊海岸シーニック・バイウェイ (蒲江・北浦大漁海道)
- 9-3 ながさきサンセットロード ~橋をつなげる教会と歴史の道~
- 9-4 北九州おもてなしの「ゆっくりかいどう」
- 9-5 ちょっとよしみち 唐津街道むなかた
- 9-6 かごしま風景街道
- 9-7 玄界灘風景街道
- 9-8 九州横断の道 やまなみハイウェイ
- 9-9 九州横断の道 阿蘇くまもと路
- 9-10 「雲の国歴史ロマン街道」 一小倉・足立山から宇佐の森へ
- 9-11 みどりの里・耳納風景街道
- 9-12 別府湾岸・国東半島海への道
- 9-13 あまくさ風景街道
- 9-14 薩摩よりみち風景街道

風景街道中部地方協議会

- 5-1 日本風景街道「伊勢熊野みち」
- 5-2 ぐるり・富士山風景街道
- 5-3 二つのアルプスに抱かれた 「信州伊那アルプス街道」
- 5-4 新しいからなつかしぎの道 ~中馬街道~
- 5-5 こころのふるさと “木曾路” 中山道
- 5-6 瀨美半島菜の花浪漫街道
- 5-7 信州みのわ花街道
- 5-8 古道ロマン「東山道」
- 5-9 “なごみの伊豆 なごみの道” 風景街道
- 5-10 浜名湖サイクリングロード
- 5-11 美濃白川 四季彩街道
- 5-12 民俗芸能と南北朝歴史浪漫のみち 「秋葉街道」
- 5-13 南信州パノラマ街道
- 5-14 きらり三橋志摩ゆやけパール街道
- 5-15 東海道「駿河2峠6宿風景街道」
- 5-16 信州遠山郷 “天に至る まつり古道”
- 5-17 大井川流域 “南アルプスへの道・お茶の道”
- 5-18 “合掌・さくら” 飛越街道 ~世界遺産をめぐる道~
- 5-19 飛騨高山風景街道
- 5-20 下呂めぐり街道

四国風景街道協議会

- 8-1 いやし・もてなし神山街道
- 8-2 びれ源平古あかりロード
- 8-3 源平ロマン街道
- 8-4 南いは風景の心どう
- 8-5 土居廊中
- 8-6 四万十かいどう
- 8-7 光まり回廊〜阿南〜
- 8-8 美馬市まほろば夢街道
- 8-9 砥部陶街道
- 8-10 土佐のまほろば風景街道
- 8-11 三好市秘境ロマン街道
- 8-12 ~オーシャンビュー~ 南阿波 サンライン・風景海道
- 8-13 えひめやまなみ燦々 風景街道
- 8-14 土佐市ドラゴン 風景街道
- 8-15 うたつ今昔ロマン街道

風景街道関東地方協議会

- 3-1 浅間・白根・志賀さわやか街道
- 3-2 千曲川・花の里山風景街道
- 3-3 江戸・東京・みらい街道
- 3-4 『東京・迎賓地区』
- 3-5 ルート299北八ヶ岳しらかば街道
- 3-6 千変万化の筑波山「まち」「さと」周遊ルート
- 3-7 時空から天空への道 日光街道
- 3-8 秩父路リネッサンス
- 3-9 日本風景街道298三郷
- 3-10 浅間ロングトレイル
- 3-11 甲州夢街道 (八王子・相模横・藤野エリア)
- 3-12 南房総・花海街道
- 3-13 八ヶ岳南麓風景街道
- 3-14 東海道 風景街道
- 3-15 歴史街道「ぶらり大観」(Slow Life in OISO)
- 3-16 ロングビーチ 癒しの九十九里街道
- 3-17 谷川岳ゆけむり街道 (信仰と歴史の街道)
- 3-18 いたこ あやめ 花街道

沖縄地方風景街道協議会

- 10-1 琉球歴史ロマン街道「啓道」
- 10-2 やんばる風景花街道

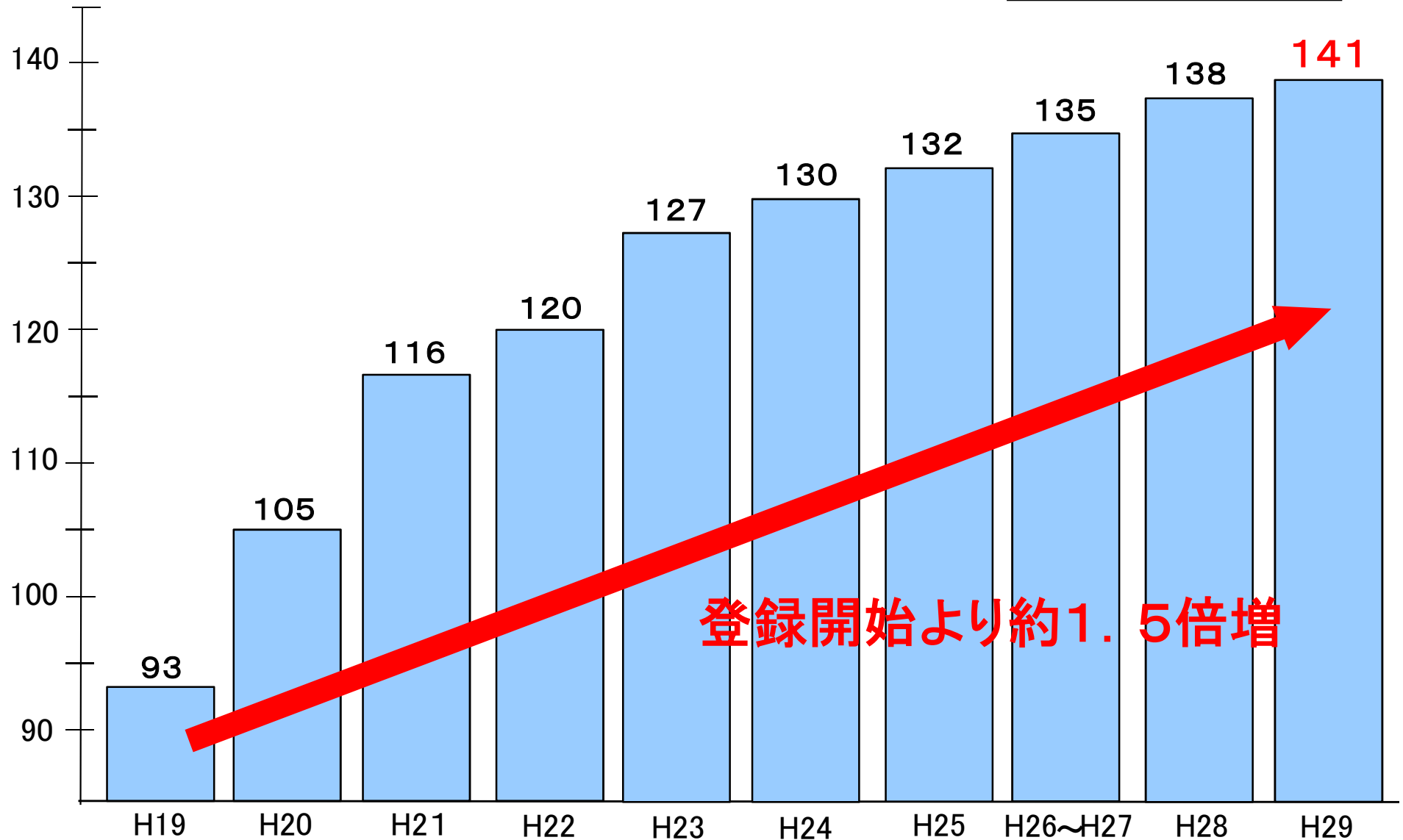




日本風景街道 登録ルート数の推移

ルート数

平成29年12月8日現在





活動状況（美しい国土景観の形成）

美しい景観・風景を創出する活動（美しくない景観を改善する活動）

●無電柱化



若狭熊川・鯖街道(福井県)

●並木の保全（間伐の実施）



秩父路ルネッサンス(埼玉県)

●広告看板の撤去等



かごしま風景街道(鹿児島県)

地域固有の資源を活かし、甦らせるための活動

●古道・旧道の発掘・復元



●ワークショップの開催



●観光拠点へのアクセス向上



●地域資源マップの作成



越後米沢街道・十三峠（山形県）

来訪者をもてなし、楽しませる活動

●案内看板の整備



鹽竈街道（宮城県）

●サイクリングロードの整備



浜名湖サイクリングロード（静岡県）

●駐車場・ビューポイントの整備



駐車場の整備

ながさきサンセットロード（長崎県）

●オープンカフェの設営



尖道湖夕日スポットでの湖水街道カフェ
（島根県）

●ツアーガイドの実施



東オホーツクシーニックバイウェイ
（北海道斜里郡清里町）



十勝シーニックバイウェイ～トカプチ雄大空間

■登録年月日

・平成22年5月17日

■地域の活動推進体制

- ・「トカプチ雄大空間運営代表者会議（活動団体59団体）」
- ・「行政連絡会議（国土交通省、北海道、関係市町村）」

・構成

十勝バス(株)、真鍋庭園苗畑、紫竹ガーデン遊華、
（一社）帯広観光コンベンション協会

他55団体

■地域のねらい・活動目的

テーマ：十勝型産業の創出と人口増加

・北海道十勝の開拓や大地の恵みから生まれる農産物など、歴史と文化を踏まえた活動により、農業など地域の強みを活かした十勝型産業の創出と、地域の活力となる移住・定住人口の増加に向け、経済活動・ボランティア活動・連携・活性化の4つの活動を循環させ、地域の持続可能な成長発展に繋がります。

■活動エリアと地域資源

～活動エリア～

・北海道十勝平野中央に位置する帯広市・音更町・芽室町・幕別町・池田町・豊頃町・浦幌町の1市6町にまたがり、道東自動車道・帯広広尾自動車道・国道38号・236号・241号・242号・336号および周辺の道道、町道をエリアとする、日高山脈から太平洋まで恵まれた自然を巡るルートです。

～地域資源～

・広大な空間の中に、空・山脈・丘・田園・川・海が果てしなく広がり、草花で彩られた田園や庭先や耕地防風林の風景など、北海道の中でも特筆した美しい景観を形成している。また、十勝の大地から生み出されるチーズやスイーツ、帯広市の北の屋台などの食の資源に加え、十勝開拓の起点となった豊頃町大津や音更町の十勝川温泉、帯広市のばんえい競馬などの観光資源もあります。

● 景観



● 観光



● 環境





■活動内容・状況

・人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト(植樹活動)

- ◆ 平成24年から開始し今年で6年目。
- ◆ 現在までに道路沿道に192本の植樹を実施し、現在は、維持管理を中心に活動。
- ◆ 毎年5月、8月に合計5回の目視による生育・枯死調査、維持管理を実施。
- ◆ 今年は8月21日等を実施し、参加者8人。



植樹維持管理の様子

・ライフコンシェルジュ派遣事業(観光案内ガイド派遣)

- ◆ 平成22年から開始し今年で8年目。
- ◆ 昨年は、駅の観光案内所、管内展望台等、7箇所の会場で延べ81日、延べ145人を派遣。



イベントでのガイド活動の様子

・とがちガーデン・スイーツ・温泉チケット事業(周遊観光促進事業)

- ◆ 平成22年から開始し今年で8年目。
- ◆ 毎年4～10月の期間、観光施設、市内ホテル、観光案内所等56施設でお得なクーポンチケットの組合せ等により周遊観光を促すチケットの委託販売を実施。



とがちガーデン・スイーツ・温泉チケット(H29)

・トカプチマップ事業(観光プロモーション)

- ◆ 平成24年から開始し今年で6年目。
- ◆ 昨年は17,000部作成し、管内道の駅、ルート活動団体施設、観光案内施設など50箇所でエリア内おすすめドライブルートの紹介や観光PRをするマップを配布。



トカプチマップ(H29)



十勝シーニックバイウェイ～トカプチ雄大空間

- 十勝の魅力・生活の楽しみを伝える「ライフコンシェルジュ」の取組として、十勝川温泉にある「シーニックカフェ十勝が丘展望台」に96名を派遣し、十勝の観光情報を伝える活動を展開。
- また、ライフコンシェルジュのおすすめスポットを発掘し「ライフコンシェルジュが紹介するおもてなしマップ」を作成するなど地域と一体となって取り組んでいる。

【ライフコンシェルジュの活動】



【地域のおすすめを発掘するワークショップ】



【ライフコンシェルジュが紹介するおもてなしマップ】





釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

■登録年月日

・平成18年11月13日

■地域の活動推進体制

- ・「ルート運営代表者会議（活動団体15団体）」
- ・「ルート運営行政連絡会議（国土交通省、北海道、関係市町村他）」

・構成
 摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町商工会
 他15団体

■地域のねらい・活動目的

テーマ:神秘的で優れた自然のあり様を五感で感じる
ダイナミックルート
 ・釧路湿原や阿寒湖、摩周湖をはじめとする豊かで特徴的な自然景観はまさに憧れの的。根釧台地に広がる広大な牧草地と格子状防風林は宇宙からも見える先人たちの叡智の結晶。この魅力的な地域資源を惹きたて、等身大の顔の見えるルート運営を目指します。

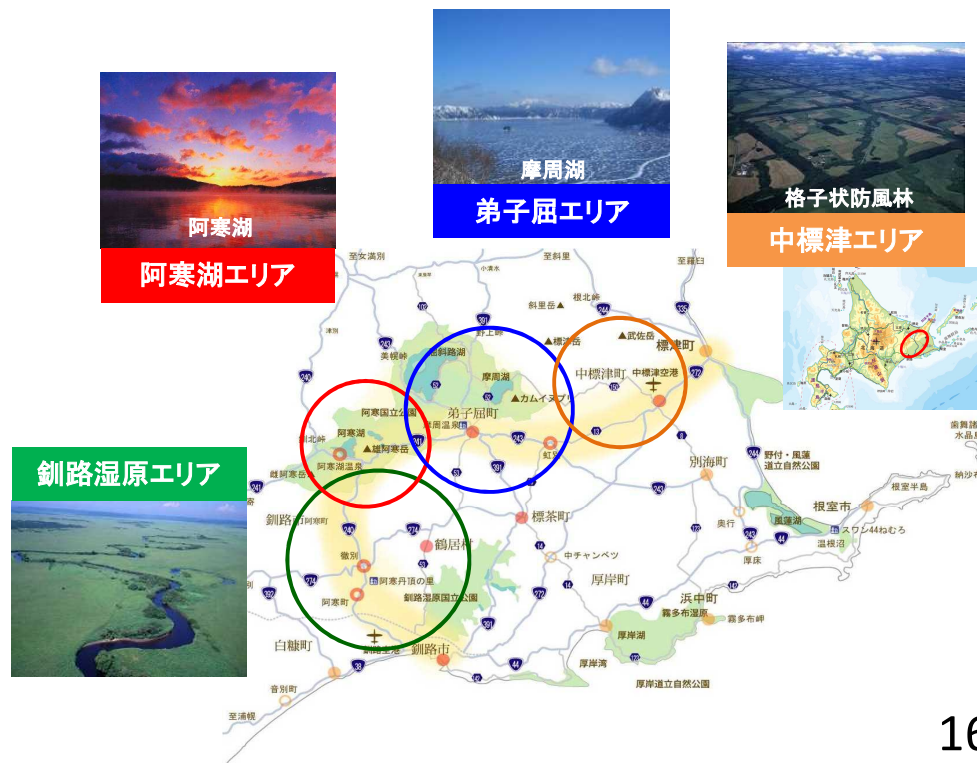
■活動エリアと地域資源

～活動エリア～

・東北道の中央に位置しており、1市4町1村にまたがっています。軸となるルートは釧路空港から中標津空港に至る幹線道路の周辺であり、釧路湿原国立公園や阿寒国立公園をはじめとする自然環境に恵まれた、世界的な観光地を含む地域で、4つのエリアで構成されています。

～地域資源～

・手付かずの自然の残るラムサール条約登録湿地、釧路湿原を中心とした釧路湿原エリア、雄大な山岳自然景観に囲まれた神秘的湖、摩周湖や屈斜路湖を含む弟子屈エリア、なだらかに続く牧草地と格子状防風林が独特の開放感を醸し出す中標津エリアで様々な活動を実施しています。





釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

■活動内容・状況

・そらの森植樹会(植樹活動)

- ◆ 平成22年から開始し今年で7年目。
- ◆ 平成29年10月9日に215本を植樹し、現在までに2,460本を植樹、参加者延べ385人。
- ◆ 種まき～移植・植樹(10月)～維持管理の全工程を一連のマネジメントサイクルで行う活動。



そらの森植樹会(植樹活動)

・道路清掃、花植活動

- ◆ 平成17年から開始し今年で13年目。
- ◆ 9箇所で開催、今年は6月4日、10日、11日、14日、7月4日、8月26日、10月1日開催。活動参加延べ1,075人。



道路清掃活動

・FMはな情報発信(地元ラジオ番組での情報発信)

- ◆ 平成28年から開始し今年で2年目。
- ◆ 毎月1回、第2水曜日、12時台20分間、コミュニティ放送局「FMはな」で、シーニックバイウェイの地域活動の内容に関する情報を発信。



地元ラジオ番組による情報発信

・勝手におすすめ委員会(地域特産品ブランド化事業)

- ◆ 平成27年から開始し今年で3年目。
- ◆ 毎年2回の運営委員会(3月、5月)を開催し、ブランド化に向けた調査検討を実施。
- ◆ 隠れた地域特産品「コロコロドーナツ」「昆活わいん醤油」「たんちょうぼーろ」などを独自に勝手にブランド化。
- ◆ 今年は函館、札幌、弟子屈など5箇所の会場で出張販売も実施しPR(1月、2月、5月、7月、9月)。



勝手におすすめ委員会の運営委員会開催



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

- 釧路・阿寒・摩周シーニックバイウェイではドライブ観光で排出されるCO2のカーボンオフセットとして国道沿線の飛行場跡地に森作りを実施。
- 「樹になるタンブラー」を販売し植樹・維持管理の費用にあてる他、種まき～植樹～維持管理まで独自のマネジメントサイクルにより活動を展開。

財源確保、植樹活動、維持管理までの一連を活動団体が独自のマネジメントサイクルで運営





どうなん・^{おいわけ}追分シーニックバイウェイルート

■登録年月日

・平成27年12月21日

■地域の活動推進体制

- ・「ルート運営代表者会議（活動団体29団体）」
- ・「行政連絡会議（国土交通省、北海道、関係市町村）」

・構成
木古内商工会、木古内町観光協会、江差町歴まち商店街協同組合

他29団体

■地域のねらい・活動目的

テーマ：「ひと」と「みち」がつなぐ北の大地の 地域再生力へのチャレンジ

・北海道新幹線開業により新たな交流人口の拡大する今、「ひと」と「みち」の繋がりをより活動に反映させ、活力ある地域再生へチャレンジします。そして、現存する地域の宝物を連携させることにより、付加価値をつけ観光資源にする等、自らが誇りうるものとして積極的に取り組んでいきます。

■活動エリアと地域資源

～活動エリア～

・西渡島及び南檜山地域に位置するルートで、国道227・228・229号、道道江差木古内線、江差と奥尻を結ぶ海路などの沿線9町のエリアで構成されています。

～地域資源～

- ・勇壮な日本海に浮かぶ奥尻島や大島・小島、幻想的な漁火が漂う津軽海峡、道南杉やヒバやブナが茂る千軒岳など北海道でも特有の魅力あふれる自然と景観が残されています。
- ・北海道でも最も歴史的な変遷があった地域であるため、幾多の歴史的な人物・文化資産を有しており、それらに絡めた伝統イベントやお祭りが各地で実施されています。
- ・北の大地と海に育まれた農海産物は新鮮美味で、地場産品を活用した地域特有のグルメなどもあります。





■活動内容・状況

・いにしえ街道の取組(歴史まちづくり)

- ◆ 平成19年から開始し今年で10年目。
- ◆ 1年を通じて5月花嫁行列、7月ガイアナイト、8月姥神大神宮渡御祭、12月年越しイベント、2~3月江差北前のひな語り(65会場)で、延べ51日イベントを開催。

・道路清掃、花植活動

- ◆ 清掃活動は、平成25年から開始し今年で5年目。
- ◆ 江差・木古内の2町5箇所て4月23日に開催、活動参加延べ70人。
- ◆ 花植活動は、平成23年から開始し今年で7年目。
- ◆ 活動箇所のサラキ岬にて、7月23日球根掘起し、10月28日球根植えを開催。
- ◆ 活動参加延べ150人。

・どうなん追分シーニックdeナイト(道路沿道でのキャンドルナイト)

- ◆ 平成22年から開始し今年で8年目。
- ◆ 毎年7月、12月~2月に8町16箇所の会場で実施。
- ◆ 昨年度は、12月24日、1月14日、2月18日に開催(7月は悪天候により中止)。
- ◆ 活動参加延べ580人。

・道南エリア四季のフォトコンテスト(地域資源発掘、情報発信)

- ◆ 平成28年から開始し今年で2年目。
- ◆ 昨年は、8月~2月に作品を募集し、48人178点が応募。3月17日に審査員10名で入賞作品を選考。
- ◆ 平成29年度には入賞作品の写真展示会および切手付葉書として商品化を行い、道の駅や観光施設で販売中。



花嫁行列の様子



ゴミ拾いの様子



シーニックdeナイトの様子





おいわけ どうなん・追分シーニックバイウェイルート

○江差歴まち商店街の「いにしえ街道」では木造瓦屋根の懐古な街並みと地域が独自に持つ歴史、文化の財産を後世に継ぐべく磨き上げ、新たな見方の景観づくりや交流人口拡大推進を図り、街の個性を最大限に活かした地域づくりを活発に行う。

どうなん追分SBW：プロジェクト

江差歴まち商店街協同組合

歴史を活かした地域づくり

江差商工会
江差観光コンベンション協会

町の個性を活かした
地域づくり

江差追分会

文化を活かした地域づくり

〈イベント〉

花嫁行列 (平成29年5月3日)
コンサート&ガイト (平成29年7月26日)
姥神大神宮渡御祭 (平成29年8月9日～11日)
年越しイベント (平成28年12月31日～平成29年1月1日)
江差北前のひな語り (平成29年2月4日～3月20日)

〈日常 (期間あり)〉

着物で歴まち散策 (5月～10月)
土蔵群探訪 (4月～11月)
沿道植栽・除草活動 (4月、6月、7月、10月)
写真展・百人の語り部 (2月～3月)
青函交流等 (随時)



花嫁行列



姥神大神宮渡御祭



土蔵カフェ：チャミセ皐月蔵



シーニックdeナイト



着物で歴まち散策&青函交流



江差北前のひな語り&写真展

第六回
江差北前のひな語り

2017年2月4日(土)～3月20日(月)
会場・歴まち一帯

たばこの祭典協賛事業

主催：江差町
協賛：江差町観光協会、江差商工会、江差観光コンベンション協会、江差歴まち商店街協同組合、江差追分会、江差土蔵群保存会、江差土蔵群探訪実行委員会、江差土蔵群探訪実行委員会、江差土蔵群探訪実行委員会、江差土蔵群探訪実行委員会

21



のしろ^{しらかみ}白神の道

■登録年月日

・平成19年12月5日

■地域の活動推進体制

・のしろ白神ネットワーク

・構成

すみれ会、NPO法人常盤ときめき隊、さつき会、手這坂活用研究会、能代バイパス黒松友の会、秋田県立大学木材高度加工研究所、能代河川国道事務所（道路管理者）

■地域のねらい・活動目的

・官・民・学協働のネットワーク形成し、里山の風景の保存と木の香る道の創造による元気な地域づくり・まちづくりを地域住民の主体的参加と提案により推進することを目的としている。

■活動エリアと地域資源

・活動エリア

国道7号沿線

・地域資源

景観資源：黒松並木、黒松の防風林（風の松原）など

自然資源：白神山地のブナ林、日本三大美林の秋田スギなど

歴史資源：里山の風景が現存する茅葺集落（手這坂）

・活動ルート・エリア図



・景観資源



能代中心部の黒松並木



黒松の防風林（風の松原）



のしろ^{しらかみ}白神の道

■ 活動内容・状況

・黒松並木の剪定会の実施

- ◆ 平成11年度から開始、年2回開催(春と秋の年2回開催)、剪定に併せ清掃も実施。
- ◆ 平成29年6月10、11日開催、参加者34人。
- ◆ 平成29年10月21、22日開催、参加者63人。

・のしろまち灯りの実施

- ◆ 平成19年度から開始、年1回開催(2月頃)。
- ◆ 平成29年2月11日開催。

・のしろ市民まちづくりフォーラムの実施

- ◆ 平成18年度から開始、年1回開催(2月頃)。
- ◆ 平成29年2月20日開催、参加者約40人。

・秋田自動車道地域活性化イベントの実施

- ◆ 平成28年度から開始、年1回開催(4月頃)。
- ◆ 平成29年4月29日開催。

・木製防護柵の塗装イベントの実施

- ◆ 平成29年度から開始、年1回開催(8月頃)。
- ◆ 平成29年8月26日開催、参加者約20人。

・ポスター・パンフレット作成

- ◆ 各イベント毎にチラシ、ポスターを作成。道の駅やPAを中心に配布・掲載。

のしろ市民まちづくりフォーラム
平成28年 2/23 火
時間 13:30~17:00
会場 秋田県立大学 木材加工研究所

～日本風景街道を通して私たちにできること～

「日本風景街道のしろ白神の道」
～民・官・学の協働による木の香る道・元気な地域づくり～

のしろ白神ネットワークは、能代周辺地域をつなぐ沿道と歴史と文化の薫る風景街道に育てていくことをテーマに結成されました。「道」が人やモノ・情報をつなぐという視点から、機動力とスピードをもって身近な問題を自分たちのできることから取り組み、行政や企業とも連携しながら地域づくり・まちづくりを進めています。

- 木のまちらしい、木の香る道を創造します
- にぎわいある楽しいまちづくりを進めます
- 里山・農山村の風景を保全・再生します
- 地域を訪れる人の心を紡ぎます

■日本風景街道とは・・・
住民、NPO、企業など地域が主体となって、行政と連携しながら、道を通じた地域づくりの推進や自然・歴史・文化などの資源を活かした「美しい景観づくり」や「活力ある地域づくり」に取り組む、それが「日本風景街道」です。
日本風景街道は、「地域資源」活動主体「日本風景街道パートナーシップ」活動内容「活動の場」中心となる活動等」から構成されます。

▲のしろ市民まちづくりフォーラムのチラシ

・ 活動事例：黒松並木の剪定

国道7号能代バイパスの沿線に植栽された黒松並木の一部、延長約1.5Kmにわたる151本の黒松剪定や清掃を実施。春の「みどり摘み」、秋の「揉みあげ」といった剪定作業を毎年実施しています。



・ 活動事例：のしろまち灯り

にぎわい創出を目的に、廃食用油から作ったろうソクと秋田杉の間伐廃材を使ってまちの通りを灯す「のしろまち灯り」を開催しています。会場には木製の屋台やベンチなどが並び、地元の人々との交流やふれあいを楽しむことができます。

木のぬくもりを感じられるこのイベントを継続・発展させ、「木都のしろ」の魅力を発信する活動を行っています。



・ ログマークの使用事例

日本風景街道に登録されている「のしろ白神の道」の活動をPRすることを目的に、パートナーシップを構成する組織の「能代バイパス黒松友の会」が活動するエリア（能代市中心部の黒松並木）にログマークを使用した看板を設置。



拡大図



奥能登絶景海道

■登録年月日

・平成19年10月30日

■地域の活動推進体制

・奥能登岬みちづくり協議会

・構成

珠洲市観光協会、道の駅「すずなり」、道の駅「狼煙」、道の駅「すず塩田村」、珠洲市

他7団体

■地域のねらい・活動目的

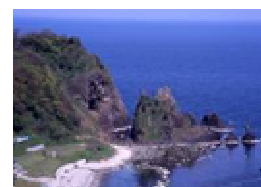
・国内初の「世界農業遺産」に指定された「能登の里山里海」を舞台に珠洲市、能登半島国定公園内の風光明媚な景観や自然環境、風土、歴史などを活かし、珠洲の観光支援と地域コミュニティの再生、さらには人と人との交流を促進する魅力ある地域を提供する。

■活動エリアと地域資源

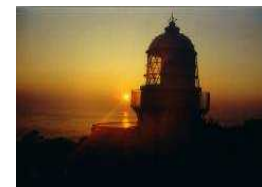
- ・ 国道249号、(主)大谷狼煙飯田線を中心とする地域。
- ・ 見附島・祿剛埼灯台・キリコまつり・大谷川鯉のぼりフェスティバル・塩づくり体験をはじめ、自然、歴史、文化など、豊かな景観と資源が豊富。



【キリコまつり】



【木ノ浦海岸】



【祿剛埼灯台】



【見附島】



【鯉のぼりフェスティバル】



【奥能登塩田村】



【ゴジラ岩】



奥能登絶景海道

■ 活動内容・状況

・奥能登絶景カレンダーの製作・販売

- ◆ 平成20年から毎年作成、今回(平成30年カレンダー)で10回目。
- ◆ 公募された写真から、奥能登岬みちづくり協議会(パートナーシップ)による選考会を経て、カレンダー300部(平成29年は700部)を製作し、珠洲市内3つの道の駅、寄り道パーキング、ネットショップにて販売。

・“能登ふるさと博”との連携(能登半島最北端の灯り)

- ◆ 平成20年から毎年開催(平成29年7月29日～8月6日)、今年で10年目。
- ◆ 灯り設備の設置・撤去作業をパートナーシップが担当

※ 能登ふるさと博は、能登半島の4市5町全域を会場に、多くの祭りをはじめとした能登のさまざまな魅力を、見て触れて感じられる一大イベント。

・清掃活動

- ◆ 平成20年から地域住民による清掃活動(道路除草(6月)、海岸清掃(7月))を年1回実施。

・絶景グッズの製作・販売

- ◆ 平成20年からポストカードを、平成27年からトートバックをパートナーシップ独自のデザインで製作し、珠洲市内3つの道の駅、寄り道パーキング、ネットショップにて販売。

・奥能登絶景海道体験おやこ合宿

- ◆ 平成27年から年1回開催(平成28年10月29、30日)。
- ◆ 珠洲焼体験、シーカヤック、ノルディックウォーキングなどの体験コースに親子10組(大人16人、子ども19人)が参加。



奥能登絶景海道

■ イベントの開催

日本風景街道大学「奥能登絶景海道 珠洲キャンパス」(H29.10.27~28開催)



「能登ふるさと博」～灯りでつなぐ能登半島～(毎年7月開催)



■ 道路・海岸清掃

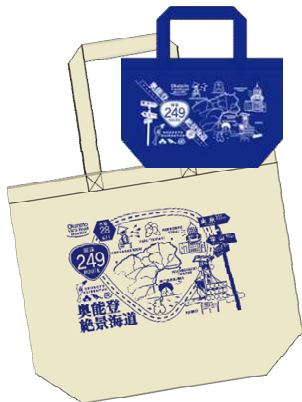
(毎年6月~7月実施)



■ 公式HPの開設

奥能登絶景海道ルート
Googleマップ活用/ホームページで公開

■ グッズ・カレンダー等の販売



■ 他イベントと協力したルート紹介

いしかわ里山里海
サイクリングロード 石川県

奥能登絶景海道体験
おやこ合宿in鉢ヶ崎リゾート
(毎年10月頃開催)

祭り体験ツアー(毎年8月開催)

ツールド・ニッポンin奥能登
サイクリングイベント(H29.9)
(奥能登国際芸術祭関連イベント)



日本の原風景「^{しだ}枝垂れ桜の咲く里への回り道」

登録年月日

平成19年10月30日

地域の活動推進体制

- ・ 枝垂れ桜の里を世界一にする会
- ・ 構成
NPO法人徳合ふるさとの会、徳合区自治会、筒石区自治会、道の駅「マリンドリーム能生」、「うみてらす名立」他7団体

地域のねらい・活動目的

- ・ 美しい風景をプロデュースし、その情報をきめ細かく発信することで、国道からちょっと回り道してみようという人たちを迎える。
- ・ 住民は、訪れる人たちとの交流を通して地域の誇りと希望を持つようになるとともに、活動を通じて、地域コミュニティーを再生する。

活動エリアと地域資源

- ・ 県道仙納・徳合線、市道仙納・筒石線を中心とする上越市と糸魚川市の2市にまたがる地域。
- ・ 戦国時代の山城跡が残り、春には枝垂れ桜の開花に合わせ「枝垂れ桜の咲く里への回り道」イベントを開催し、茅葺きの古民家や棚田など、豊かな景観と資源が豊富。

①道の駅「能生」と「うみてらす名立」



③枝垂れ桜



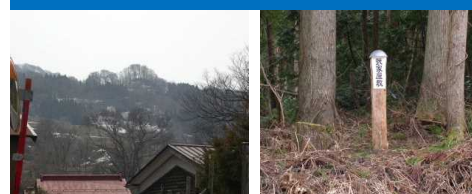
②筒石駅（ホームが地下）



④棚田の風景



⑤徳合城跡





日本の原風景「^{しだ}枝垂れ桜の咲く里への回り道」

■ 活動内容・状況

・枝垂れ桜春のイベント(ハイキングイベント、ギャラリー&カフェ等)

- ◆ 平成22年から開始、桜の開花時期に合わせて毎年開催(4月中旬～下旬頃)。
- ◆ 平成25年にNHKや全国紙の記事になり注目され、当地を訪問する団体ツアー等も増加。
- ◆ 春のイベント参加人数は、延3,300人(H29実績)。



ハイキングイベント



ギャラリー



観光団体ツアー来訪



NHK取材

・特産品の販売

- ◆ 平成27年より、道の駅で開始。
- ◆ 平成29年からは国道駐車場でも実施(道路協力団体の活動)。
- ◆ 主に春は山菜、夏はメロンの販売、その他、枝垂れ桜の枝やはさがけ新米なども販売。
- ◆ 地元産よもぎを使った新商品の開発・販売など、和菓子屋と連携し新たな展開も模索。

・植栽活動

- ◆ 植栽時期10月(準備:1月～植樹候補地選定、4月～支障木伐採、9月～除草・地拵え)。
- ◆ 植樹開始から延べ約320本植栽、地域住民・小学校などと協働して植栽・管理を実施。
- ◆ 平成29～30年にかけて、約100本の植樹を予定。

・ポスター、パンフレット作成

- ◆ 風景街道の取組みPRポスター等を作成、NEXCOや道の駅等に配布(年1回、100部程度)。



日本の原風景「^{しだ}枝垂れ桜の咲く里への回り道」

■ ギャラリー&カフェの開設



■ 枝垂れ桜の植樹式



■ ハイキングイベントの開催



■ 観光巡回バスの運行



■ 国道駐車場や道の駅での清掃、特産品の販売



■ 小学校での授業開催





ぐるり富士山風景街道

登録年月日

平成19年11月1日

地域の活動推進体制

ぐるり富士山風景街道

構成

NPO法人地域づくりサポートネット、NPO法人まちづくりトッパーナーふじのみや本舗、富士山朝霧高原景観管理協議会

他43団体

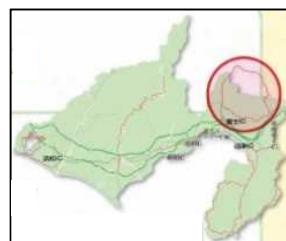
地域のねらい・活動目的

- ぐるり富士山の風景価値を高め発信する活動を進める（情報発信）
- 富士山麓を磨き高める活動を進める（美化活動）
- 富士山麓のフィールドを活かし・楽しむ活動を進める（眺望・修景）
- 富士山の歴史、文化、自然、風景、暮らしを学び、守る活動を進める（歴史・文化学習）

活動エリアと地域資源

- 平成25年に世界文化遺産に登録された日本を象徴する“富士山”を有する地域
- 富士山麓を環状に取り囲む国道138号、139号、469号を基本ルートとし、エリアは基本ルートを対象に枝道（脇道）、登山道を含む。

＜活動ルート・エリア図＞



基本ルート

概ねの活動エリア



ぐるり富士山風景街道

■活動内容・状況

・ぐるり富士山風景街道一周清掃（道路のゴミ拾い及び草刈り）

- ◆ 平成27年から毎年10～11月頃を一周清掃月間とし、静岡・山梨両県にて合同一斉清掃を年1回開催。
- ◆ 平成29年11月11日 参加者約200人※、収集したゴミの量 約140kg※。 ※静岡・山梨の合計

・国道138号景観ワークショップ会議

- ◆ よりよい道路景観の形成を目指したワークショップ会議やガードレールの色塗り、除草・清掃等の修景活動を実施。
- ◆ 平成26年から年3回開催（ワークショップ会議2回、修景活動1回）。
- ◆ 平成29年度
御殿場地区 10月13日 28人、11月14日 90人（修景活動）、1月（30人）予定
須走地区 10月 5日 31人、11月12日 150人（修景活動）、1月（30人）予定

・花植え活動（ボランティア・サポート・プログラム協定締結団体）

- ◆ 平成27年から開始、植栽時期（6月、11月）、年間の苗数 1,000株。
- ◆ 平成29年6月10日 30人参加、11月4日 10人参加。

・ポスター作成

- ◆ 平成26年度より作成（H26より：パネル、H28より：ポスター）
- ◆ 道の駅、ぐるり富士山風景街道アクションネットワークを構成する団体・関係行政機関にて配布。

・マルシェ出店（H26国土交通省道路局社会実験）

- ◆ 平成26年度に道の駅朝霧高原・朝霧さわやかパーキングにマルシェ出店し、野菜、豚汁、お菓子等を販売。
- ◆ 平成26年10月11日～11月23日の土日（内、3回荒天中止）に実施し、計11日間開催。

・富士山すっきりサイン実験

- ◆ 案内看板の統合集約やデザインの統一のため、国土交通省（H23：1箇所）及び静岡県（H23：2箇所、H24：1箇所）の社会実験として、国道139号猪之頭入口交差点付近等の看板を集約し設置。



ぐるり富士山風景街道



〈富士山すっきりサイン実験〉
案内看板の統合集約やデザインの統一



〈PRポスター・ぐるり富士山トレイルポスター〉



〈道の駅朝霧高原でのマルシェ出店〉



〈ぐるり富士山風景街道一周清掃〉



〈ガードレールの色塗り〉
(小山須走地区景観ワークショップ会議)



〈御殿場IC付近での花植え〉
(御殿場地区景観ワークショップ会議)33



渥美半島菜の花浪漫街道

■登録年月日

・平成19年11月1日

■地域の活動推進体制

- ・渥美半島菜の花浪漫街道パートナーシップ会議
- ・構成
NPO法人田原菜の花エコネットワーク、渥美半島観光ビューロー、道の駅田原めっくんはうす
他21団体

■地域のねらい・活動目的

・環伊勢湾地域における主要幹線としての道の機能や役割を再認識し、道を舞台に三河湾、太平洋などに囲まれた渥美半島の魅力や美しさを発見、創出するとともに、市民、事業者、行政などが協働して、景観、自然、歴史、文化、産業、エコエネルギー等の地域資源を活かした原風景を創成する運動を促し、地域の活性化及び観光振興に寄与すること。

■活動エリアと地域資源

- 渥美半島の主要幹線道路であり半島を周遊する（国道42号、国道259号）を主軸とした田原市全域。
- 伊良湖岬、恋路ヶ浜、太平洋（表浜）など旅情溢れる観光資源、蔵王山や大山など深緑たたえる自然資源などが豊富。



■サイクリングロードに咲く菜の花（伊良湖岬の恋路ヶ浜付近） ■太平洋ロングビーチ（サーフィンのメッカ／表浜）の夕焼け





渥美半島菜の花浪漫街道

■活動内容・状況

・遊休農地の活用・再生、住民交流の促進、環境教育、学習の実施

- ◆『渥美半島菜の花まつり』の実施
 - ・平成9年からイベント開始、年1回開催。
 - ・平成29年1月14日～3月31日開催、参加約18万人(H28年度実績)。
- ◆『アイシン・エイ・ダブリュ(株)／遊休地への菜の花・ヒマワリの種まき』の実施
 - ・平成21年から取組開始、年1-2回イベント開催。
 - ・平成29年10月1日開催、イベント参加約130人(H29年度実績)。
- ◆『園児による遊休地への菜の花の種まき』の実施
 - ・平成18年度からイベント開始、年1回開催。
 - ・平成29年10月開催、イベント参加4園約160人(H29年度実績)。
- ◆『街なか菜の花イベント』の実施
 - ・平成21年度からイベント開始、年1回開催。
 - ・平成29年2月19日開催、参加約1,500人(H28年度実績)。

・沿道花壇の整備、草取り、清掃活動

- ◆『中学生と地域が協働で沿道(浪漫街道／国道259号)清掃』の実施
 - ・平成27年度から協働の取組開始、年3回程度開催。
 - ・平成29年7月22開催、参加約20人(H29年度実績)。

・市HP、ブログ、リーフレット・パンフレット等による普及啓発・情報発信

- ◆『取組パンフレット』の作成
 - ・平成22年度頃から作成、最新版H28.3／3,000部印刷(1種類)。
 - ・市役所カウンター配架、市HP公開、会議委員への配付 等。





渥美半島菜の花浪漫街道

■ 菜の花を軸にした自然景観の創出

■ NPO法人田原菜の花エコネットワークなど活動団体が主体となり、遊休農地を活用した菜の花の栽培や清掃活動、ブログでの情報発信など、地域一体となって景観の保全・地域活性化に努めています。



■ 遊休地に咲いた菜の花の摘み取り
(H28.1：市内全域)



■ 園児による遊休地への菜の花の種まき
(H29.10：市内全域)



■ 街なかイベントにて菜の花を配付
(H29.2：三河田原駅前広場)



■ 中学生と地域が協働で沿道清掃
(H29.7：国道259号沿い)

■ 遊休地へ菜の花の種まき：地域貢献活動の一環として、立地事業所周辺の景観形成のため遊休地に菜の花を栽培しています。



■ アイシンAWによる遊休地への菜の花の種まきイベントには、約150人もの参加がありました。
(H29.10：光崎交差点付近)



■ 菜の花イベントの（渥美半島菜の花まつり）の開催
(H29.1-3：市内全域)



浜名湖サイクリングロード

■登録年月日

・平成19年11月1日

■地域の活動推進体制

- ・浜名湖サイクルツーリズム推進会議
- ・構成
(公財)浜松観光コンベンションビューロー、
NPO法人地域づくりサポートネット、各観光協会
他26団体

■地域のねらい・活動目的

・浜名湖周遊サイクリングロードの風景価値を再確認し、地域などとの協働で景観など地域資源の魅力を高める取り組みを進め、地域活性化や浜名湖観光の振興を図る。

■活動エリアと地域資源

- ・浜名湖周遊自転車道を基軸とした、浜松市及び湖西市の浜名湖周辺地域。
- ・湖面のすぐ横を走り抜けるサイクリングロード、ふぐ・牡蠣・鰻からお茶やみかんまで、様々な海・川・山の幸、マリンスポーツやアクティビティ、国指定の重要文化財や名勝を有する古刹である湖北五山や気賀関所・新居関所などの史跡等々。自然、歴史、文化など、豊かな景観と資源が豊富。



静岡県





浜名湖サイクリングロード

■ 活動内容・状況

・浜名湖サイクルツーリング

- ◆ 平成15年から年1回(3月)開催。平成30年3月25日に第15回を開催予定。
- ◆ イベント参加人数1,197名(H29.3月実績)

・浜名湖サイクルツーリング ガイドライド&大試乗会

- ◆ 平成27年から開始。浜名湖サイクルツーリングの前日開催。
 - ・ガイドライド・・・ 浜名湖サイクリングロードを利用した地元サイクリストによるガイド付きのサイクリングコース。イベント参加人数53名(H29.3月実績)。
 - ・大試乗会・・・ 国内外の有名ブランドの自転車に試乗できるイベント。イベント参加者約1,000名、試乗人数503名、出展団体数20社(H29.3月実績)。

・浜名湖サイクリングロードの管理と活用に関する道路空間の再配分社会実験(国交省道路局)

- ◆ 浜名湖SAにサイクルツーリズムのゲートウェイとしての機能を付加し、機能を終えた道路空間の管理と活用に関する再配分の仕組みを作ることを目的に実走やモニタリング、アンケート等を実施(H27年)。
- ◆ 平成28年には継続検証を実施。同時に骨伝導音声ナビの有用性の検証を実施(静岡県道路企画課)。

・情報発信・提供の仕組みの整備、サイクリスト受け入れ体制の整備、ルート開発、整備

- ◆ HPやマップの作成
- ◆ サイクリストウェルカムの宿
- ◆ Bicycle Pitの認定及び受付継続
- ◆ サイン整備(矢羽型路面表示、立て看板)
- ◆ 遊覧船や鉄道への輪行バッグ積み込み試行
- ◆ 天竜浜名湖鉄道による輪行バッグの無料貸与の開始



浜名湖サイクリングロード

「浜名湖サイクリングロード」は、浜名湖周遊自転車道を基軸とし、浜松市、湖西市の二市に跨がり浜名湖を一周することが出来るコースであり、風光明媚な浜名湖をサイクリングのメッカにするため、風景街道PS構成員が参画している浜名湖観光圏整備推進協議会のワーキンググループ、浜名湖サイクルツーリズム推進会議が主体で、地域が一体となった観光客(サイクリスト)の呼び込みを実施している。

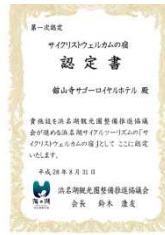


浜名湖一周サイクリングMAP

浜名湖一周サイクリングMAPの作成や、サイクリストに活用頂く「Bicycle Pit (自転車の休憩所)」と「サイクリストウェルカムの宿」の情報を発信。
[\(http://www.hamanako-ct.jp/\)](http://www.hamanako-ct.jp/)



「Bicycle Pit」と「サイクリストウェルカムの宿」認定式



WEBサイトでの情報発信



認定マーク



「Bicycle Pit」利用状況



貸出し工具



列車内に自転車を持ち込む輪行バッグ
天竜浜名湖鉄道(H29.10.21運用開始)



ぎんざんかいどう 銀山街道・いんよう陰陽結ぶ銀の道

■登録年月日

・平成25年10月25日

■地域の活動推進体制

・銀山街道パートナーシップ

・構成

銀山街道沿線市町等連携協議会、銀の道広域連携実行委員会、NPO法人ひろしまね

他22団体

■地域のねらい・活動目的

・世界遺産「石見銀山遺跡」につながる銀山街道の沿線等自治体及び活動団体が連携して、銀山街道を護り、活かす取組を推進し、沿線地域の活性化や地域資源の活用を広域で進め、情報の共有化を図りながら地域振興を協働で行うことを目的とし、この目的達成につながる地域間交流の推進活動を実施する。

■活動エリアと地域資源

- ・国道54号、国道184号、国道375号などを中心とする地域。
- ・大森代官所跡・大田庄・100万本のひまわりをはじめ、自然、歴史、文化など、豊かな景観と資源が豊富。

The map shows the Silver Mountain Street route connecting various towns in Iwano Prefecture. The surrounding photos illustrate the diverse resources and activities in the region:

- 大田市【大森代官所跡】: A traditional building in Ohtani.
- 飯南町【森林セラピー】: A person enjoying a forest therapy session in Iwanami.
- 美郷町【十王堂付近竹林】: A bamboo forest in Misaki.
- 三次市【鶴岡】: A festival in Misaki.
- 世羅町【大田庄】: A scenic view of the Ohtani area in Yura.
- 府中市【出口通り】: A street scene in Furukawa.
- 尾道市【浄土寺山展望台から】: A view of the Settsu-ji mountain from the observation deck in Misano.
- 福山市【鞆の浦】: A view of the Misano Bay in Fukuoka.
- 笠岡市【干拓地とひまわり】: A field of sunflowers in Kasuga.
- 井原市【与一を偲ぶ古典芸能祭】: A traditional performance festival in Iwano.



■活動内容・状況

・銀の道を歩くたびの開催

- ◆ 平成27年から開始、年1回程度開催。
- ◆ 平成29年5月27～28日開催、イベント参加約30人(H29実績)。

・カレンダーの作成

- ◆ 平成25年から開始 800部(H28実績)(～H27まで500部)作成。
- ◆ 関係者などへ配布・道の駅などで販売・企業への販売。

・マップの作成

- ◆ 平成26年から全線を3分割にして作成。29年度中にデータ完成。
- ◆ 平成30年度に印刷し、関係市町や道の駅、観光協会などで配布予定。

・銀の道広域連携実行委員会・会議開催

- ◆ 平成24年から開始、年3～4回開催(7月、12月、その他不定期)。
- ◆ 平成29年7月22日開催、構成団体23団体(H29実績)。

・銀山街道沿線市町等連携協議会・会議開催

- ◆ 平成24年から開始、年3回開催(5月・6月頃、12月頃)。
- ◆ 平成29年5月22日総会、会員8市町(H29実績)。



ぎんざんかいどう いんよう 銀山街道・陰陽結ぶ銀の道

銀の道を歩くたびの開催



銀山街道沿線市町等連携協議会 総会開催
平成29年5月26日 三次市役所



2017年版「銀の道カレンダー」
(800部作成)



「尾道松江線等沿線ネットワーク会議」
シンポジウムへのブース出展





しまなみ風景街道

■登録年月日

・平成19年9月13日

■地域の活動推進体制

- ・しまなみ風景街道パートナーシップ
- ・構成
瀬戸内しまなみ海道振興協議会(~H29.3)、(一社)しまなみジャパン(H29.4~)

■地域のねらい・活動目的

・瀬戸内しまなみ海道周辺地域に広がる芸術・文化・景観をテーマに、「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流による地域の活力向上を目的とし、多様な主体による協働のもと、地域の景観・自然・歴史・文化・観光等の地域資源の発掘・保全、及び魅力向上につながる各種活動を実施する。

■活動エリアと地域資源

- ・瀬戸内しまなみ海道及び瀬戸内海横断自動車道を中心とする地域。
- ・瀬戸内海国立公園、浄土寺、因島水軍城をはじめ、自然、歴史、文化など、豊かな景観と資源が豊富。

浄土寺(尾道)

因島水軍城(因島)

積善山の桜

大山祇神社(大三島)

宮窪瀬戸 潮流体験(宮窪)



しまなみ風景街道

■ 活動内容・状況

・しまなみ縦走開催

- ◆ 瀬戸内しまなみ海道沿線に設けたチェックポイントを「徒歩」又は「自転車」で回るスタンプラリー。
- ◆ 平成11年から開始、年1回開催(3月)。
- ◆ 平成29年3月25～26日開催、イベント参加延3,990人(H29実績)。

・レンタサイクル事業

- ◆ 平成11年から開始、利用台数141,205台(H28年度実績)。

・インバウンド促進事業(台湾などイベント参加や招聘等)

- ◆ 平成22年から開始、年数回開催。
- ◆ 平成28年7月20～26日 香港ブックフェアへのブース出展、来場者数延102万人。
- ◆ 平成29年11月11～13日 日月潭Come Bike Dayへのブース出展、参加者数約4,000人。

・親と子の橋体験セミナー

- ◆ 多々羅大橋橋脚の塔頂と架橋技術や橋の構造を学ぶ親子セミナー。
- ◆ 平成11年から開始、年1回開催(7月)。
- ◆ 平成29年7月30日開催、参加35人(H29実績)



しまなみ風景街道

インバウンド促進事業
香港「第27回ブックフェア」へ出展



しまなみ縦走



親と子の橋体験セミナー



レンタサイクル事業





風待ち海道

■登録年月日

・平成19年9月13日

■地域の活動推進体制

・隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会

・構成

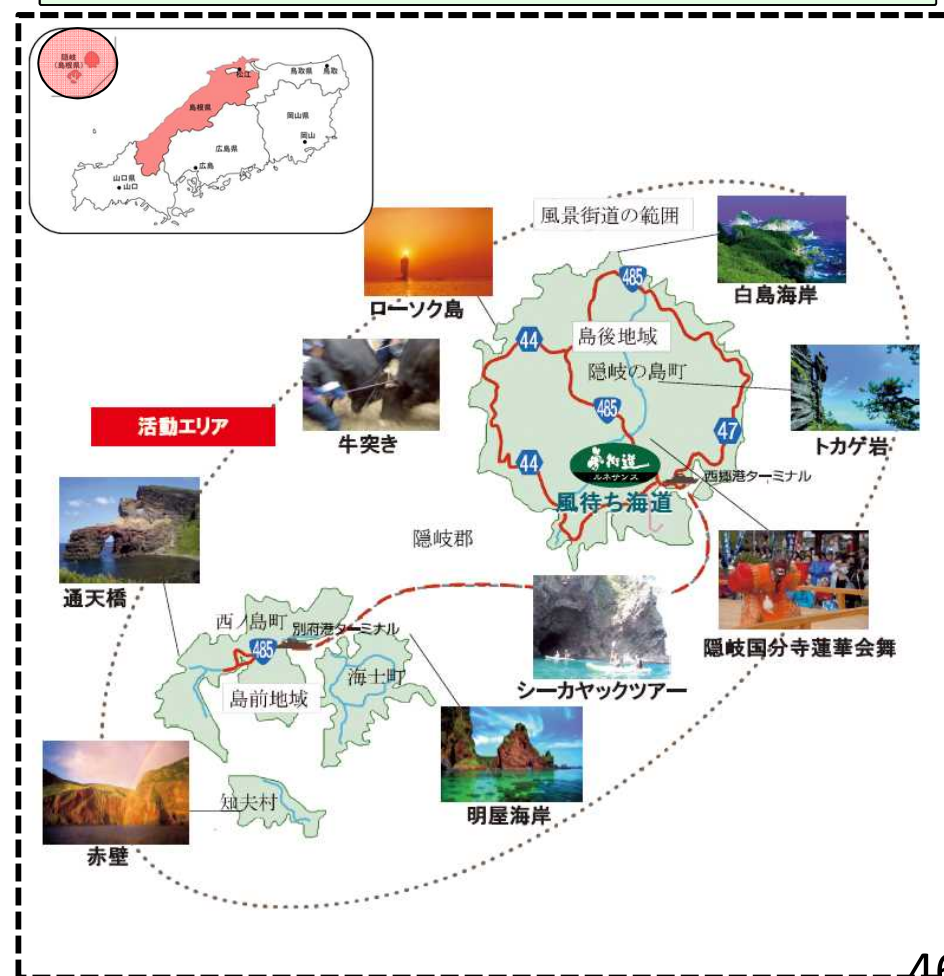
島根県、海士町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町
他40団体

■地域のねらい・活動目的

・道路空間に溢れる、隠岐の貴重な資源（自然・歴史・文化）の保全と活用による地域振興・観光振興を目的とする。

■活動エリアと地域資源

- ・国道485号、県道西郷都万郡線などを中心とする地域。
- ・ローソク島、国賀海岸、赤壁、黒耀石をはじめ、自然、歴史、文化など、豊かな景観と資源が豊富。





■ 活動内容・状況

・ジオパークフェスタの開催

- ◆ 平成26年から開始、年1回開催。
- ◆ 平成29年6月4日開催 約6,000人参加。

・清掃イベント開催

- ◆ 平成26年から開始、年3回程度開催。
- ◆ 平成29年4月、6月、9月開催、約1,000人参加(H29年度実績)。

・学校教育、社会教育との連携

- ◆ 平成23年度より、小中高校および公民館活動と連携し、地域学習会を開催。
- ◆ 学校関係43回、公民館その他32回開催(H28年度実績)。

・ポスター作成

- ◆ 平成23年度より作成(全体バージョン500部、4島バージョン100セット、6枚組60セット)。
- ◆ 空港およびフェリーターミナル、各宿泊施設、七類港、境港、出雲空港ターミナルに貼付。

・パンフレット作成

- ◆ 平成23年度より作成。
- ◆ リーフレット(日・英・仏・中・韓)、マップ(日・英・仏)、マンガ冊子(日・英・中)、インバウンド促進パンフレット(日・英・タイ語)、ガイドブック。

・プロモーションムービー作成

- ◆ 平成23年度より作成。
- ◆ 空撮映像、CG作成(「大地の成り立ち(浸食編)」、「不思議な生態編」作成)。
- ◆ 隠岐ユネスコ世界ジオパークHPや西郷港(隠岐の島町)及び別府港(西ノ島町)ターミナルで放映中。47

・隠岐ユネスコ世界ジオパークフェスタの開催



(オープニングイベント)



(フェスタ開催状況)



(イオンとの提携)

・地域学習会、ガイド養成講座、清掃イベントの開催



(地域学習会)



(ガイド養成講座)



(清掃イベント)

・小中高校と連携した地域学習会および海外の学校との交流



(小学校での学習会)



(中学校での学習会)



(オーストラリアマッキロップ高との交流事業)



南いよ風景かいどう

■登録年月日

・平成19年11月14日

■地域の活動推進体制

・「南伊予みち風景会議」風景街道部会

・構成

NPO法人段畑を守ろう会、岩松町並み保存会、愛南町ボランティア連絡会、トレッキング・ザ・空海あいなん実行委員会

他12団体

■地域のねらい・活動目的

・宇和海や鬼ヶ城山を中心とした豊かな自然、1,000年以上も続く遍路文化で培われたお接待の心など、南伊予の風土、風景を次世代に継承する。また、その魅力を全国に紹介し、広く交流人口を高めることを目的とする。

■活動エリアと地域資源

- ・南いよエリア、宇和島市、鬼北町、松野町、愛南町の4市町から成り立ち、6つのルートを中心に構成。
- ・足摺宇和海国立公園、清流四万十川の源流、山風景と渓谷美、昔懐かしい自然風景など地域資源が豊富。



滑床溪谷

遊子水荷浦の段畑

岩松の町並み 49



南いよ風景かいどう

■活動内容・状況

・イベント実施、清掃 等

- ◆ げんき市(主催:愛南町ボランティア連絡会)
 - ・平成17年から年1回開催(3月)、平成29年3月19日開催、イベント参加延 2,200人。
- ◆ 遊子段畑夕涼み会(主催:NPO法人段畑を守ろう会)
 - ・平成18年から年1回開催(8月)、平成28年8月6日開催(H29は悪天中止)、イベント参加延 800人。
- ◆ トレッキング・ザ・空海あいなん(主催:トレッキング・ザ・空海あいなん実行委員会)
 - ・平成10年から開始、年1回開催(11月)、平成29年11月18、19日開催、イベント参加延 700人。
- ◆ 蛍の畦道ライトアップ、ホテルウォッチング(主催:目黒の里ホテル愛好会)
 - ・平成18年から年1回開催(6月)、平成29年6月3日開催、イベント参加延 500人。

・ポスター・チラシ作成

- ◆ げんき市(主催:愛南町ボランティア連絡会)
 - ・平成17年よりポスター210部、チラシ6,000枚を愛南町内、関係機関、近隣道の駅29箇所に配布。
- ◆ 遊子段畑夕涼み会(主催:NPO法人段畑を守ろう会)
 - ・平成18年よりポスター330部、チラシ500枚を宇和島市内、関係機関、近隣道の駅29箇所に配布。
- ◆ トレッキング・ザ・空海あいなん(主催:トレッキング・ザ・空海あいなん実行委員会)
 - ・平成10年よりポスター500部、チラシ10,000枚を愛南町内、関係機関、近隣道の駅29箇所に配布。
- ◆ 蛍の畦道ライトアップ、ホテルウォッチング(主催:目黒の里ホテル愛好会)
 - ・平成20年よりチラシ5,000枚を作成し、松野町内、関係機関、近隣道の駅29箇所に配布。

・物品販売

- ◆ げんき市(主催:愛南町ボランティア連絡会)
 - ・イベント会場にて、手づくり雑貨等を販売。
- ◆ 蛍の畦道ライトアップ、ホテルウォッチング(主催:目黒の里ホテル愛好会)
 - ・イベント会場にて、目黒米おにぎり、アマゴの塩焼き等を販売。



南いよ風景かいどう



【愛媛大学生とのワークショップ】

愛媛大学生と地域の活動団体が、南いよ風景かいどうの更なる活性化や交流人口の増加を目指したワークショップを開催。

活動団体毎の班にわかれて、各イベントポスターのキャッチフレーズ、リーフレットの記事づくりや戦略(情報発信・イベント企画等)について、活発な意見交換を実施。



蛍の畦道ライトアップ



岩松行燈回廊



清掃状況



トレッキング・ザ・空海あいなん



げんき市



ふる里だんだんまつり

【各種取組】

「南伊予の豊かな自然と人の営みを基盤として、魅力ある歴史、伝統、文化によって彩られた美しい風景を守り、育むためにはどうすればいいのか」と、風景を切り口に、個人、団体が自らできることを考え、様々な取組を行っています。

南いよ風景かいどう
トレッキング・ザ・空海あいなん
伊予ふれあいのみち
小春日の山頂我こそは空海
愛南町 宮下武浩
雨天決行
【荒天中止】
平成29年11月18日(土)・19日(日) 参加費 500円
高校生以下は無料
18日 集合形式：午前8時30分～ 集合場所：松尾町 藤江文化センター
19日 集合形式：午前8時20分～ 集合場所：愛南町 DE-あ-い-21
松尾町 へんる道を歩こう 松尾町 へんる道を歩こう
20周年記念
夏井いつき句会ライブ
11月19日(日) 15:00～
松尾町 藤江文化センター 大ホール
おなたでも自由に参加できます。
※お申し込みは不要です。
◎お楽しみ品あり。
◎記念品あり。
◎お楽しみ品あり。
【主催】トレッキング・ザ・空海あいなん実行委員会、愛媛県愛南町・愛南町教育委員会
【協賛】(一社)四国クワイエット協会 【共催】宇和島市・府毛市
【後援】南いよ風景かいどう実行委員会、南いよ風景かいどう実行委員会事務局、愛媛県、愛媛新聞社、NIX 松山放送局
南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛、JX南道
〒797-0001 伊予市 内海公民館 TEL:(0895)85-1021 FAX:(0895)85-0889 URL: http://www.town.ahnan.ehime.jp

【日本風景街道ロゴマーク用事例】



日南海岸きらめきライン

■登録年月日

・平成19年11月26日

■地域の活動推進体制

- ・日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会
- ・日南海岸地域シーニックバイウェイ行政連絡会
- ・構成
 - 民間：橋通りフラワーロード推進協議会 等 活動団体 計38団体
 - 行政：宮崎県、宮崎市、日南市、串間市、北郷町、南郷町、宮崎河川国道
 - 大学：宮崎大学

■地域のねらい・活動目的

- ・花と笑顔のあふれる「うつくし」の道空間の創造
- ・人々の暖かさと地域資源で生み出す「もてなし」とスローで居心地のよい「いやし」の道空間の創造
- ・語り部が風土をつむぐ「歴史・神話」の道空間の創造

■活動エリアと地域資源

- ・日南海岸地域の国道220号、222号、448号などを中心とする地域
- ・日南海岸国定公園・都井岬・鶴戸神宮をはじめ、自然、歴史、文化など、豊かな景観と資源が豊富





■活動内容・状況

・サイクルツーリズム環境整備

- ◆ 平成26年度の日本風景街道大学よりサイクルツーリズムをカリキュラムに取り入れ、平成27年度から「サイクルレストよってね！」を設置。以降サイクリングコースの設定やサイクリングツアーを開催。
- ◆ 平成29年度開催ツアー
 - ・ スカイライド宮崎in日南海岸恋人ロード（後援、4月/約250人）
 - ・ 旧外ノ浦巡りサイクリングツアー（協力、7月/20人）
 - ・ わくわくサイクリング（後援、11月/約280人）
 - ・ 日本風景街道大学エクスカーション（主催、1月予定/20人）
 - ・ 日南海岸サイクリングツアー（主催、2月予定/20人）

・うつくしの道づくり(花植活動)の実施

- ◆ 平成18年より通年実施。
- ◆ 参加者 約 300人。

・日本風景街道大学の開催

- ◆ 平成23年から開始、年1回開催。
 - ・ 第1回開講 平成23年10月29～30日
 - ・ 第2回開講 平成24年1月21～22日
 - ・ 第3回開講 平成25年1月12～13日
 - ・ 第4回開講 平成26年1月10～11日
 - ・ 第5回開講 平成27年1月9～11日
 - ・ 第6回開講 平成28年1月8～10日
 - ・ 第7回開講 平成29年1月6～8日
 - ・ 第8回開講 平成30年1月5～7日(予定)
- ◆ 第7回参加者 約 70人。



日南海岸きらめきライン

サイクルツーリズム環境整備(道路協力団体活動)

サイクリストをもてなすサイクルレスト「よってね！」を設置。区域全体に広め、サイクリストウェルカムな環境づくりを行うとともに、地域まちづくり団体やサイクリング協会と連携し、地域資源を楽しむサイクルイベントの開催を行っている。

また、道路協力団体活動として、サイクリストを対象としたベンチ、サイクルハンガー、自販機、露店等の利便施設を設置・管理し、収益により道路の維持・管理を充実させている。

サイクルレスト「よってね！」



うつくしの道づくり

青島、日南、串間エリアでそれぞれ花植え活動を実施し、花で地域を結ぶ一斉活動として展開している。



日本風景街道大学

組織力の向上を目的とし、毎年1月に宮崎大学地域資源創成学部と連携し「日本風景街道大学」を開催。平成29年度は1月5日(金)、6日(土)に開催。エクスカージョンは7日(日)開催予定。

平成28年度 日本風景街道大学 募集中

【テーマ】生み出す～地域の力

【日程】平成29年1月6日(金)～8日(日)

【会場】宮崎大学創立300記念交流館

【参加費】1,000円/日

【申し込み・問い合わせ先】事務局

【主催】宮崎大学地域資源創成学部

【協賛】日南海岸きらめきライン



ながさきサンセットロード

■登録年月日

・平成19年11月26日

■地域の活動推進体制

・ながさきサンセット・ロード推進協議会

・構成

民間：NPO法人 軍艦島を世界遺産にする会 等
 活動団体 計58団体

行政：長崎県、松浦市、平戸市、佐々町、佐世保市、
 西海市、長崎市、長崎河川国道

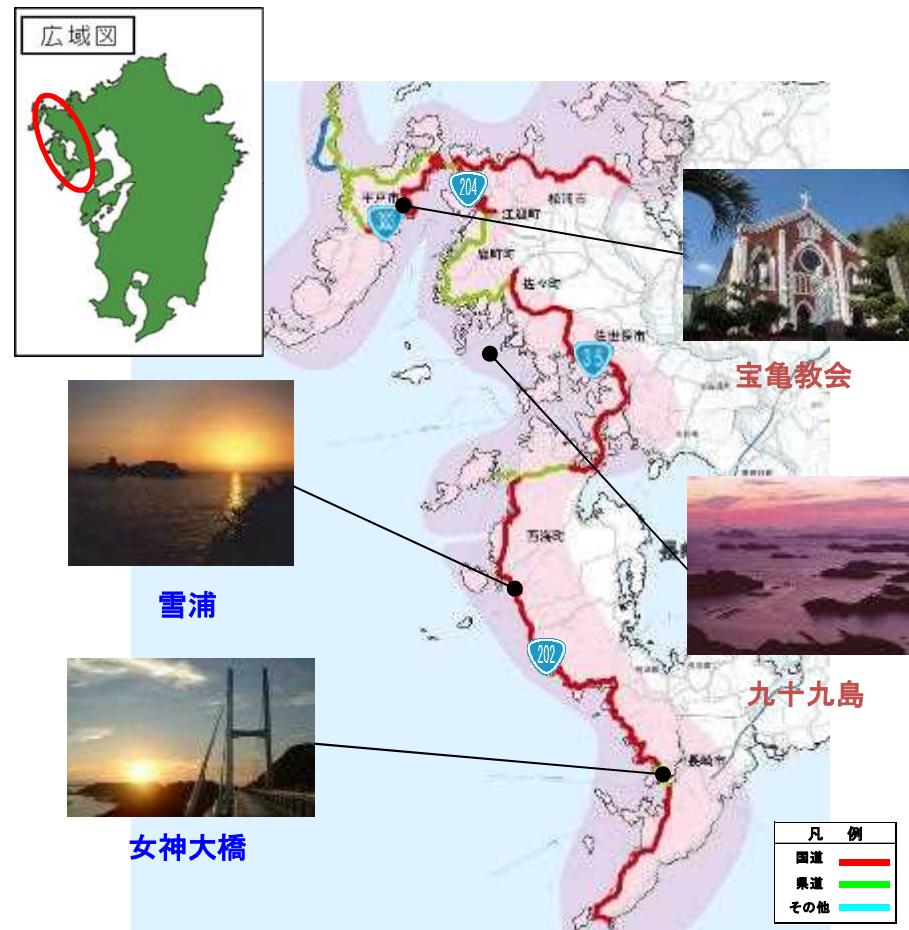
大学：長崎国際大学、長崎大学

■地域のねらい・活動目的

- ・地域間相互の人と人をつなぐネットワークづくりや他地域との連携を図る。
- ・地域の魅力を伝え、ファンを増やし、訪れる人をもてなす「人」づくりを進める。
- ・来訪者を地域に迎えるための「舞台」づくりを進める。
- ・資源を活かして、来訪者を地域に迎えるためのイベントや体験メニューを実施する「しかけ」づくりを進める。

■活動エリアと地域資源

- ・長崎県西海岸の国道202号、35号、204号、383号などを中心とする地域。
- ・夕日（大バエ灯台・展海峰など）、教会（宝亀教会・田平教会など）をはじめ、自然、歴史、文化など、豊かな景観と資源が豊富。





ながさきサンセットロード

■活動内容・状況

・フォトコンテストの開催

- ◆ 平成28年度から年1回開催。
- ◆ ポスターやHPで一般市民を対象に募集を行い、協議会メンバーの投票により優秀作品を決定。優秀作品や応募作品は各道の駅での展示や、ながさきサンセットロードの広報ポスター等に活用し、県内外への情報発信を行っている。
- ◆ 平成29年度は平成29年12月～平成30年5月31日まで募集中。平成28年度は、約80人が参加し、約350作品の応募あり。

・沿線沿いの一斉清掃イベント

- ◆ 平成27年度から年1回実施。
- ◆ 参加者はパートナーシップと一般市民の応募者で構成され、今後は各パートナーシップ・道の駅・道守・学生団体・各行政が連携を図りながら一般参加型のイベントとしての定着を目指している。
- ◆ 平成29年度は、11月18日に24箇所にて実施し、合計参加者 1,536人。

・10周年のツアーイベント

- ◆ 平成29年度に登録10周年を記念し、道の駅と連携したウォーキングツアーやうどんづくりなどの体験を取り入れた8ツアーを企画。
- ◆ 平成29年11月12日に、4ツアー実施し、合計参加者 63人。
 - ① 秋のサンセットロードウォーキングと「外海ふるさと祭り」(長崎駅発)
 - ②③ 秋のサンセットロードウォーキングと外海サンセットクルーズ(長崎駅、佐世保駅発)
 - ④ 外海グリーンツーリズムとふるさと祭り・サンセットクルーズ(長崎駅発)



ながさきサンセットロード

ながさきサンセットロードフォトコンテスト

ながさきサンセットロードの更なる魅力創出のため、道の駅等との連携を図り、フォトコンテストを平成28年度より二年連続開催中。優秀作品や応募作品は各道の駅での展示や、ながさきサンセットロードの広報ポスター等に活用し、県内外への情報発信を行っている。



沿線沿いの一斉清掃イベント

平成27年度より、毎年11月に沿線沿いの一斉清掃を行っている。参加者はPSと一般市民の応募者で構成されており、現在は1,000人超が参加している。今後、各パートナーシップ・道の駅・道守・学生団体・各行政が連携を図りながら、一般参加型のイベントとして定着を目指している。



10周年記念ツアーイベント

ながさきサンセットロード登録10周年を記念して各種ツアーイベントを企画している。

